監 督 者 会 議　次 第

令和5年７月20日（木）　１６：００～

　　東京アクアティクスセンター東側スタンド

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 司会 | 東京都高等学校体育連盟水泳専門部 | 山口　尚己 |
| （開会宣言） | 東京都高等学校体育連盟水泳専門部 | 山口　尚己 |
| １．挨拶 | 東京都高等学校体育連盟水泳専門部長 | 原田　能成 |
| ２．歓迎の言葉 | 公益財団法人東京都水泳協会専務理事 | 内田孝太郎 |
| ３．開閉会式・表彰式について | 東京都高等学校体育連盟水泳専門部 | 吉川　悠希 |
| ４．全国大会の申し込みについて | 東京都高等学校体育連盟水泳専門部 | 山本　智志 |
| ５．宿泊・弁当について | 近畿日本ツーリスト |  |
| 飛込　第二会議室に移動 |  |  |
| ６．審判長挨拶 | 関東高等学校体育連盟水泳専門部委員長 | 平嶋　　純 |
| ７．競技・運営について | 関東高等学校体育連盟水泳専門部委員長 | 平嶋　　純 |
| ８．会場利用について | 東京都高等学校体育連盟水泳専門部 | 鈴木　　実 |
| ９．諸連絡 | 東京都高等学校体育連盟水泳専門部 | 山本　智志 |
| （閉会宣言） | 東京都高等学校体育連盟水泳専門部 | 山口　尚己 |

【資料】

①会議資料（本紙）

②会場図

③開閉会式図

④選手・観客席

⑤選手控え所（割り振り図）

４．競技・運営について

（１）本競技会は、2023年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。

（２）競技は、予選・決勝とも10レーンで、タイムスケジュールどおりに行う。

バックストロークレッジの使用に際して、レッジの高さの調節は各選手が行う。使用しない場合は、折返監察員に申し出ること。

（３）自由形の女子８００ｍ・男子１５００ｍはタイムレース決勝とする。それ以外の種目については予選・決勝を行う。

（４）決勝は、予選の結果上位１０名（10チーム）が出場できる。ただし、棄権者が出たときは補欠の上位より出場権を与える。

（５）決勝の進出について、同記録で予定人数を超えた場合は抽選を行う。補欠が同記録で複数いる場合にも抽選を行う。

（６）招集は競技開始１０分前より行う。なお、本人確認のためＡＤカードを必ず持参すること。招集の　　際に日水連の水着規則にのっとり、水着の確認を行う。

（７）決勝の招集には補欠２名（チーム）も必ず招集を受けること。

（８）予選競技の棄権は予選競技開始の２０分前までに、棄権用紙に記入の上、リゾリューションデスクに届け出ること。決勝は棄権することはできない。やむなく棄権する場合は、各都県委員長を通して、その予選種目終了後１時間以内にリゾリューションデスクに届け出ること。

（９）プログラム訂正用紙・リレーオーダー用紙・棄権用紙（※）は、リゾリューションデスクで受け取り、所定の事項を記入の上提出すること。なお、監督者会議の受付でもこれらの提出を受け付ける。

（10）800ｍ・1500ｍ自由形における周回通知は、水中ラップカウンターおよび折り返し側に周回板を使用し、コールは行わない。

（11）計時バックアップは半自動装置の記録を採用する。ゴールタッチは、タッチ板の有効面に確実にタッチすること。リレーの引き継ぎはＰＴ８０００により判定する。（－０．０３までを許容範囲とする）

（12）選手紹介は、予選は組のみの紹介、決勝は入場ゲートで行う。なお、８００ｍ・１５００ｍ自由形については、最終組のみ、前述の通告を行う。

（13）予選競技では上位２０名までを電光表示板において発表する。決勝班組等は、関東高校ホームページにて公開する。

（14）予選競技・タイム決勝（最終組以外）はオーバーザトップ方式で行う。

（15）リレーオーダー用紙の提出締め切りは別表のとおりとする。用紙はリゾリューションデスクに用意してあるので、予選競技はできるだけ前日に提出すること。

（16）注意事項

　　　①　競技にはピアス・テーピングなどをして出場することはできない。ただし、ケガなどによるキズテープの使用は「審判長の承諾」により許可する。各都県委員長に連絡確認後、審判長の承諾を得ること。

　　　②　予選・決勝とも小旗・タオル・部旗の持ち込み入場は禁止する。

　　　③　背泳ぎのスタートの場合は、足から入りアップなどのスイムをしないこと。

　　　④　リレー種目では応援のためスタート台に立ち上がらないようにすること、前方に進み出ないように注意すること。

５．会場利用について

全体スケジュール

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 日　　付 | 開　門 | 朝W-up（当日翌日出場選手のみ） | 競技開始 | リレーオーダー〆切  (予選／決勝) | 閉　門 |
| 7月21日（金） | 7：50 | 8：00～9：15 | 10：00 | 10：00／15：00 | 17：45 |
| 7月22日（土） | 7：50 | 8：00～9：15 | 9：30 | 9：30／15：00 | 18：30 |
| 7月23日（日） | 7：50 | 8：00～9：15 | 9：30 | 9：30／13：30 | 16：30 |

◎メインプール（５０ｍ×１０レーン）

（１）水深は3ｍ、水温は２７．５℃に設定する。

（２）練習時間は、開門時間から下記のＷ－Ｕｐ終了時間までと、競技終了後から閉門時間の１５分前までとする。公式スタート練習は8：15から行う。

（３）朝のＷ－Ｕｐは当日と翌日のレースに出場する選手とする。

（４）昼休みの練習は、決勝進出者は全レーン使用可能とし、翌日のレースに出場する選手は4-10レーンのみとする。

（５）１・１０レーンをダッシュレーンとする。ただし、１レーンは折り返し側から、１０レーンはスタート側からのスタートの一方通行とする。また、利用状況によりダッシュレーンを増やすときには、通告により連絡をする。なお、ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止とする。

（５）２レーンと９レーンをペースレーンとする。（クロールのスイムのみ使用可とする）

（６）ウォーミングアップでの注意事項

①　途中で止まらず最後まで泳ぐこと。

②　コースロープにつかまらないこと。

③　プールに入水するときは、スタート台左側より入ること。

④　止まっている選手は休んでいるものとみなし、クロールで追い抜くこと。

⑤　ビート板・プルブイ以外の利用を禁止する。

◎サブプール（５０ｍ×１０レーン）

（１）水深は３ｍ、水温は２７．５℃に設定する。

（２）練習時間は、開門時間から閉門時間の１５分前までとする。２２日は１７：００まで

（３）２・９レーンをダッシュレーンとする。

（４）１・１０レーンをペースレーンとする。（クロールのスイムのみ使用可とする）

（５）ウォーミングアップでの注意事項

①　途中で止まらず最後まで泳ぐこと。

②　コースロープにつかまらないこと。

③　プールに入水するときは、スタート台左側より入ること。

④　止まっている選手は休んでいるものとみなし、クロールで追い抜くこと。

⑤　ビート板・プルブイ以外の使用を禁止する。

◎ダイビングプール（２５ｍ×６レーン）

（１）水深は５ｍ、水温は２７．５℃に設定する）

（２）練習時間は、開門時間から閉門時間の１５分前までとする。

（３）６レーンをダッシュレーンとする。

（４）ウォーミングアップでの注意事項

①　途中で止まらず最後まで泳ぐこと。

②　コースロープにつかまらないこと。

③　プールに入水するときは、スタート台左側より入ること。

④　止まっている選手は休んでいるものとみなし、クロールで追い抜くこと。

⑤　ビート板・プルブイ以外の使用を禁止する。

その他の注意事項

①　開門時間・閉門時間は、上記の通りとする。

②　ＡＤカード（選手　引率責任　監督・コーチ）は、プールアリーナ内では常時首から下げること。また、プールアリーナからの入退場の際、必ずＡＤカードを提示し係の指示に従うこと。貸し借りは厳禁とする。

③　プールアリーナ・１階スタンド下の廊下では、室内履きを原則とする。

④　貴重品の管理は各校で行うこと。また、観覧席などでは私物の管理を徹底すること。

⑤　更衣室のロッカーの使用は不可とする。更衣室に荷物などは絶対に放置しないこと。

⑥　プライベートテントの使用はできない。

⑦　選手控え所・スタンドは各都県に割り振るので、互いに融通して利用すること。通路（避難経路）確保のため、指定場所以外の使用は禁止する。スタンド最上段のスペースの使用を禁止する。

⑧　忘れ物は２階エントランス学校受付横にて保管する。最終日競技終了後、廃棄処分する。

６．開・閉会式について

◎開会式

１　日　時 令和５年７月２１日（金） ９時３０分

２　会　場 東京アクアティクスセンター　プールアリーナ

３　参加者

1. 人員

開会式には、各都県とも委員長１名、選手５名が参加する。

②　服装

開会式に参加する選手の服装については、各チームのユニフォームを着用する。

③　集合場所及び集合時間

開会式に参加する委員長・選手及び返還団（昨年度優勝校）は、９時２０分までにプールサイドの所定の位置に集合を完了する。

2 返還団

　　　　優勝校１名　（競泳男女・飛込男女）

　　 3　　宣誓

　　　　東京都代表（男女１名）

４　入場方法 　入場行進は行わない。各都県整列場所へ直接集合する。

５　返　還

①　手続き

あ）優勝杯返還者は進行係の通告後、補助生徒の先導により大会会長前に整列する。

い）競泳男子、競泳女子の順に返還し、レプリカを受け取る。

う）続いて飛込男子、飛込女子の順に返還し、レプリカを受け取る。

え）終了後、一礼して補助生徒の先導により元の位置に戻る。

６　退　場 閉会通告後解散、退場する

◎閉会式

１　日　時 令和５年７月２３日（日） １５時３０分予定

２　会　場 東京アクアティクスセンター　プールアリーナ

３　参加者

1. 人　員

閉会式には、各都県委員長１名及び受賞団が参加する。

1. 受賞団

優勝校は２名、２～８位までの学校は１名が参加する。

③　服　装

閉会式に参加する選手の服装については、各チームのユニフォームを着用する。

④　集合場所及び集合時間

閉会式に参加する委員長及び第８位までに入賞した学校は、１５時２０分（予定）までにプールサイドの所定の位置に集合を完了する。

４　入場方法 　入場行進は行わない。各都県整列場所へ直接集合する。

５　表彰式

男女総合１位～８位までに入賞した学校の代表者は、進行係の通告後、補助生徒の先導により、大会会長前に整列し表彰を受ける。

終了後、一礼して補助生徒の先導により、元の位置へ戻る。

６　退　場

閉会通告後、解散し退場する

７．全国大会の申し込みについて

（１）全国大会の出場資格を得た選手（チーム）は、日本高校受付（1階リゾリューションデスク横）にて下記の資料を受け取ってください。

①　参加種目別一覧表及び学校長認知書（男女別・複写式４枚綴り）

②　略称の記入方法について

③　様式Ａ　記入上の注意（認知書の書き方）

　　※大会要項・その他の書類は、令和５年度日本高校ＨＰからダウンロードしてください。

（２）日本高校受付へ「参加種目別一覧表（学校長認知書）」の「④　地域大会主幹団体提出用」を提出してください。なお、「参加種目別一覧表（学校長認知書）」のそのほかの様式については、各都県の専門委員長まで提出してください。宿泊申し込みと宿泊申込金の納入は各校で行ってください。

（３）受付時間は次の通りです。

７月２１日（金）２２日（土）・・・・・・１３時００分～競技終了後３０分まで

２３日（日）・・・・・・競技開始～競技終了後３０分まで

８．宿泊・弁当について

９．諸連絡

（１）撮影許可について

①　撮影許可証の発行はしない。ADを常に提示すること。観客席に撮影場所を設ける。撮影後速やかに退席すること。

②　会場内でビデオカメラ撮影をする場合は、競技や通行の妨げにならない場所で行うこと。また、フラッシュを焚いての撮影は禁止する。

③　違法な撮影は、関知し次第、警察へ通報する。

（２）表彰について

①　各種目とも、決勝上位８位までに入賞した選手（チーム）に賞状を授与する。

②　新記録樹立者には通告においてアナウンスする。（賞状には「○○新」と明記する）

1. 表彰式の手順
   1. ３位までの入賞者（チーム）は、決勝男女種目終了後、表彰者待機席で待機する。
   2. リレーチームでの表彰は各チーム４名とする。
   3. 補助生徒を先頭に、大会会長前に整列し、通告に従い表彰を受けること。
   4. 小旗、タオルや部旗を持っての表彰は禁止する。

⑤　受賞後、補助生徒を先頭に退場する。

（４）賞状の受け渡し

①　表彰式における賞状は全て無記入のものを使用し、８位までの入賞者（チーム）には競技終了後

　４０分後より賞状渡し所（２階エントランス学校受付）にて賞状を呈する。

②　リレー種目では、学校保管用と各選手に賞状を授与する。

（５）入場抽選について 　入場抽選は行わない

（６）観覧席（スタンド）の利用について

①　都県ごとに場所を指定する。各都県委員長のもと、譲り合って利用すること。

（７）マッサージスペースについて

　　 ・１Ｆ廊下にエリアを作成する。都県委員長へ事前に申告のあった学校が対象となる。マッサージベッドの位置については指定制とし２１日８：００～８：３０とする（２０日はスタンド２階スタンド後ろ車椅子スペースなら残置可能）

（８）駐車場について

　　 ・駐車場を開放する（大型車は駐車不可）。プール周辺の道路は駐停車禁止（ハザードも禁止）とする。

（９）プログラムの販売について

　　 ・２階エントランス保護者側のスタンド入り口ADチェック付近にて一般販売を行う。

（10）感染対策について

全国大会につながる大会、第９波を鑑み、密になる場所では極力マスクの着用を求める。